

# こんにちは 日本共産党市会議員団です

左から、吉崎久・井田佳代子・堀口達也・橋頭久美子



2017年 6月 NO256

日本共産党綾部市会議員団発行  
綾部市若竹町 綾部市役所内  
電話42-3280 内線208

<http://www.jcp-ayabe.jp/>

【質問】地域住民の健康づくりや訪問介護・医療活動を行う嘱託職員「コミュニケーション」の公募期間は、2月15日から28日まで14日間。2月23日には「コミュニケーション」市民フォーラムが開催され、地域医療や高齢者介護の現状報告、新規事業に対する期待などが語られた。この中で、養成講座

「採用までのシステムに問題あり」と大学教授の指摘(京都新聞)もありました。誰もが納得できる公募制度が必要であり、補助金がなくても市の独自制度として継続することを求めました。

## 嘱託職員「コミュニケーション」公募の経緯は

### 井田佳代子議員

受講者3名のコミュニケーションナーズが紹介された。公募期間中にフォーラムが開催され、採用の公平性に問題ありと新聞報道されたが、採用までの経過はどうか。

【答弁】看護師3名の確保を目指していたが、養成講座受講者から人数確保のめどが立たない中、公募をおこなった。今後はより明確な説明に努めたい。



## 雑紙を資源化し ごみ半減へ

### 【質問】新年度から

「あやべ古紙再生プロジェクト」がスタートする。クリーンセンターに運ばれる「燃やして処理するごみ」に含まれる40%の紙類を資源化することで、ごみ減量化・処理経費削減にもつながる事業。市民の協力は不可欠と考えるが、周知の方法は。

【答弁】自治会員の協力は、非常に重要と考えており、連合自治会長会で概要説明を行う。

燃やして処理するごみから作られるRDFの外部委託処理予算(29年度)は約1億円ですが、仮にごみを40%減量すると4千万円もの経費削減になります。

## 「原発再稼働NO」を議会の総意にと

### 主張するも請願採択ならず 日本共産党

#### 紹介議員となり

#### 採択に力を尽くす

「高浜原発の再稼働に反対、実効性ある避難計画を、美浜3号機を廃炉に」の内容の請願が3件提出されました。(最終項に関連記事) 請願の主な内容は

福島原発事故から6年経過しても事故原因は不明で、使用済み核燃料の処分もできず蓄積している／若狭湾

帯には15基の原発があり、自然災害・テロ攻撃を考えると非常に危険である／原子力規制委員会の「新基準」は、外国では当たり前

前の避難計画さえ審査対象とせず、EU諸国の基準にも

及ばない／原発の運転期間を40年としながら、申請された原発すべてを承認し、特に美浜3号機は蒸気発生器の耐震評価を古い規格で行ない、本来なら不合格を合格としている／今年1月、クレーンが核燃料保管庫に



倒壊する事故もあり管理責任が問われる／世論調査でも原発再稼働反対は過半数を占め、大津地裁は「原発の経済性より国民生活が優先されるべき」と、原発の運転を認めない判断を下した。

#### 採決の結果は

日本共産党は賛成。新国会の一部の議員も賛成しましたが残念ながら不採択となりました。

#### 反対された理由は

創政会(民政会・公明党含む代表として)の反対討論では、関西電力の「安全対策」を評価し、原子力規制委員会の新基準は「世界で最も厳しい基準」「国の計画に沿って徐々に減らすべき」と主張しました。皆さんのご意見をお聞かせください。







# 高浜原発再稼働に反対を

【質問】高浜2号機

で1月20日21時49分に、高さ105メートル、総重量270トンのクレーンが強風により倒壊し、アームが使用済み核燃料保管庫の屋根に落下した。ここには256体の核燃料が保管されていた。建屋の屋根が崩れた場合、重大事故につながる可能性があった。この事故の通報や事故原因について、2月16日の高浜原発に係る地域協議会での協議はどうか。

【答弁】事故後、23時に連絡がありこの事故による、大気中への放射能物質の放出はないとの連絡を受けた。高浜原発に係る地域協議会（綾部市・舞鶴市・南丹市など30市町村）の5市2町では、事故原因について、

①強風警報が発令されたが、事業者への情報共有ができていなかった。②クレーンのアームを立てたままでも瞬間風速42メートルまでは大丈夫と関電も認識をしていた。

【質問】日本クレーン協会では、「風速10メートルの場合、重りがある後部を風上に移動。30メートルの場合はアーム等を地上に接地するように倒す」としている。今回の事故は、安全規則・マニュアルに反しているものであり、「人災」だ。クレーンの安全管理もできない関西電力に、原発の運転をまかせていいのか。

【答弁】今後関西電力等へ安全確認や運転を申し入れたい。

【質問】事故に対する避難対策は不十分。福島原発事故の原因究明もまだできていない。しかも放射能・汚染水の大量放出など問題は山積している。原発再稼働反対の表明をただちにすべき。

【答弁】今すぐには無理だ。将来にわたってゼロをと考えている。



堀口達也議員



高浜3・4号機

## 補正予算及び平成29年度予算

皆さんの声とともに実現できました!

●市民センターを建てかえます

●武道館を解体後、平成31年度完成予定で、3階建て、冷暖房完備

●綾部・八田中学校の給食室をつくりまします

●平成30年度からすべての小中学校で自校給食が実現

●幼稚園・小中学校の大規模改修をまします

●綾部幼稚園屋上防水改修、東八田小体育館の床

●中筋小の階段に手すり、何北中スロープ整備など

●旧清掃工場を解体しリサイクル施設を建てまします

●物部町に介護施設が建設されます（平成31年度開所予定）

●産後の子育て支援のため、保健福祉センター内に相談室を整備まします

●介護福祉士養成学校在学1学年当り貸与額が100万円に増額されます

●ろう重復障がい者の入所施設老朽化のため建てかえます

●放課後学級の雨漏り等の改修、男女共用トイレを男女別に改修まします

●市街地の南北をつなぐ宮代豊里線を拡幅・2車線化等の工事をまします（平成33年度）

●消防の上林分遣所を24時間体制として、火災や救急の対応をまします。

●黒谷川を整備して、増水による市道冠水を軽減まします（平成30年度）

●土砂災害ハザードマップの更新や備蓄食料等を計画的にそろえます

●水源の里条例を10年延長し、定住・交流促進や産業の振興のため補助を行ないます

●黒谷川を整備して、増水による市道冠水を軽減まします（平成30年度）

●土砂災害ハザードマップの更新や備蓄食料等を計画的にそろえます

●水源の里条例を10年延長し、定住・交流促進や産業の振興のため補助を行ないます

●黒谷川を整備して、増水による市道冠水を軽減まします（平成30年度）

●土砂災害ハザードマップの更新や備蓄食料等を計画的にそろえます

●水源の里条例を10年延長し、定住・交流促進や産業の振興のため補助を行ないます

●黒谷川を整備して、増水による市道冠水を軽減まします（平成30年度）

●土砂災害ハザードマップの更新や備蓄食料等を計画的にそろえます

●水源の里条例を10年延長し、定住・交流促進や産業の振興のため補助を行ないます

●黒谷川を整備して、増水による市道冠水を軽減まします（平成30年度）

●土砂災害ハザードマップの更新や備蓄食料等を計画的にそろえます



建築予定の新市民センター

●松くい虫の防除費用を補助まします

●森林の間伐への補助をまします

●有害鳥獣被害対策の強化をまします

●なお、1月の大雪で被害を受けたパイプハウスや茶棚等の現地調査を行い、早期復旧のため議会初日に予算を可決まします。



# 日本共産党

## 平成29年度 当初予算に対する考えは

上林消防24時間体のように原発施設での

制や、綾部・八田中学校の給食調理室の建設、

学校耐震化整備完了など住民要望が実現した

ことは評価する。

自動車道路開通などで「良い風が吹いている」と言われ、一部大手企業ではその傾向が

現れているが、市民の暮らしに実感はない。

給与所得者の年平均所得額は2000年から15年間で約50万円減少している。市民の暮らしと仕事の応援、

格差と貧困の対策、社会保障の充実が必要だ。

福島第一原発事故は6年経過しても未だに

収束しておらず、高浜原発でのクレーン倒壊

のように原発施設での事故が頻発している。避難対策は今なお十分であり、国民の半数以上が再稼働に反対している。原発の容認ではなく再生可能エネルギーへの転換が求められている。

綾部市が行った意識調査の結果では「部落問題での理解は高いが、女性・外国人等に対する意識が課題」と指摘されている。「部落問題での理解が進めば、他の課題での理解もすすむ」として「同和」を冠とした人権教育を進めてきたが、意識調査からみても、人権教育のあり方を見直し、自主・自律・主体を基本に、

人権全般にわたる教育に改めるべきである。

以上が当初予算に対する日本共産党の見解です。

上林消防24時間体のように原発施設での

制や、綾部・八田中学校の給食調理室の建設、

学校耐震化整備完了など住民要望が実現した

ことは評価する。



綾部中学校の給食室となる木金工作室



### 3月議会

### 各議員の質問及び賛否態度

	議員名	一般質問の有無	①	②	③	④
日本共産党	堀口達也	○	反対	賛成	賛成	賛成
	堀根久美子	○	反対	賛成	賛成	賛成
	吉崎 久	○	反対	賛成	賛成	賛成
	井田佳代子	○	反対	賛成	賛成	賛成
民政会	相根一雄	○	賛成	反対	反対	反対
	高倉武夫	○	賛成	反対	反対	反対
	松本幸子	○	賛成	反対	反対	反対
	種清喜之	○	賛成	反対	反対	反対
創政会	高橋 輝	—	賛成	反対	反対	反対
	波多野文義	○	賛成	反対	反対	反対
	荒木敏文	○	賛成	反対	反対	反対
新政会	久木康弘	○	賛成	反対	賛成	賛成
	村上宣弘	○	賛成	反対	賛成	反対
	片岡英晃	○	賛成	反対	反対	反対
公明党	森 義美	—	賛成	反対	反対	反対
心友会	塩見麻理子	○	賛成	反対	反対	反対
副議長	吉崎 進	—	賛成	反対	反対	反対
議長	安藤和明					



議案検討を行う共産党議員団

【①～④の議案内容と採決の結果】

①一般会計当初予算  
②「高浜原発の再稼働前に避難計画の実行性確保と住民説明会を求める請願」＝高浜原発再稼働に反対する全国自治体議員の会より提出  
③「関西電力高浜3・4号機再稼働反対に関する請願」  
④「関西電力高浜1・2号機、美浜3号機の廃炉に関する請願」＝③④は青野町の山口昭雄氏他7人より提出。（詳細は1面に掲載）

①の一般会計予算を含め46議案が提案されましたが、①以外の45議案については賛成しました。